

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保 育
事業所名	レイモンド淡海保育園
代表者氏名（管理者）	園長 米田 悦啓
法人名	社会福祉法人 檸檬会
定員（利用人数）	70名（71名）
施設・事業所所在地	〒520-2153 滋賀県大津菅野浦2-1
T E L	(077) 572-6762
F A X	(077) 572-6763
電子メール	yoshihiro.y@lemonkai.or.jp
ホームページアドレス	https://www.lemonkai.or.jp/school/nursary/leimond-oumi-hoikuen/

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター
評価実施期間	2025. 12. 2 & 2025. 12. 3

3 評価の概要

○ 総合評価

平成22年4月に開園した「レイモンド淡海保育園」は琵琶湖畔の通りに面した2階建て独立した建物です。保育理念である3つの心を育む「人・命を愛する心」・「自然と共に生きる心」・「想像（創造）する心」を育む保育をめざし子どもたちの自由な発想を生かし自分から学び、友だちと活動、対話しながら、興味、関心を深め協力して行動できる園生活を目指しています。さらに安心感や信頼感が育つ環境の中でのびのびと過ごし、一人ひとりを大切に、丁寧に優しく、尊重する保育をめざしています。穏やかで家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりの子どもを大切に、自己を発揮できるように、生活環境を整え、自立し生きていく保育に努めています。特に日頃から子どものやろうとしている姿を否定することなく受け止め尊重するための取り組みが保育で実践されています。年齢や発達段階に応じて、外部専門講師による英会話教室、体操教室の活動を組み入れた取り組みを実施しています。園長は機会を見つけて保育現場で職員と共に保育に取り組むことで保育園の強みや課題を把握し情報共有して、職員の就業状況や保育の質の向上についても把握するように努めています。前向きな明るさと積極的な行動が保育園の職員や子どもたちの日々の明るさにも繋がり人間関係を育む保育園づくりに取り組んでいます。保育士、栄養士、看護師は、連携を図りながら子供たちが発達段階に応じた体験を通じ食育や保健指導などの活動に取り組んでいます。食育ボードにメニューを表示し栄養・バランスのとれた食事に繋げています。保育の（基本方針）の食のこだわり、身体づくり、集団づくり、感性づくり、を大切に保育実施に取り組んでいます。日々職員との日頃のコミュニケーションを大切にすると、家庭事情や、体調、悩みを聞き取り、働きやすい職場づくりによる定着をめざし、職員が協力してワークライフバランスを充実させ、職員定着の取り組みが行われています。遠足や夏祭り、お楽しみ会などの行事のほか、保育参観を通し、保護者と子どもの成長を共有する取り組みを実施しています。また保護者にアンケートを配信し、要望や要求を取集してより良い保育園づくりに努めています。第三者評価結果を受審することで職員と共に、質の向上に向けた保育園づくりに、園長はじめ職員が一丸となって取り組んでいます。

○ 特に評価の高い点

【子ども主体のオープン（コーナー）保育が行われています】。

クラスごとの枠にとらわれず、子どもの思いを尊重し、子ども一人ひとりが興味のある遊びを自ら選択し思い切り楽しみ、夢中になる環境作りに取り組んでいます。

教室で遊びたい子どもは自分自身で選択し室内での遊びを楽しんでいます。

子どもを否定しない姿勢が職員の意識に根付き、日頃から思いやりを育みながら成長できるように接する保育を実施しています。

【遊びの中から生活技術の習得できる取り組み】

食育年計画を作成し、栽培活動・収穫体験・献立や旬の食材に関わる豊かな経験ができるように取り組んでいます。外部講師による英会話教室、体操教室、アートに触れながら豊かな経験を積み重ねられるよう取り組んでいます。

【働きやすい職場づくり】

ワークライフバランスへの取組に気を配り、働きやすい職場づくりに園長が日頃から職員とのコミュニケーションを大切に、耳を傾け職員間の協力体制を大切にしています。残業時間を抑制する「定時デー」のほか育児中、介護中の職員を把握し職員が協力して働きやすさを充実させる取り組みが行われています。専門性やスキルアップを図り園全体の保育の質の向上に繋げています。

○ 改善を求められる点

【中長期目標策定計画】

事業計画は項目に沿って内容が策定されているが、単年度の事業計画の中でも計画されている中長期の策定と、内容を反映した単年度の事業計画の策定を期待いたします。

【各種マニュアルの検証】

各種マニュアル等が整備されていますが、職員マニュアル、保育手順の整備と検証見直しによる共通認識をもって定期的な見直しを期待いたします。

【各種研修の整備】

園外研修、園内研修が実施されているが、計画と実施状況が明確になる記録や書式の工夫、研修項目についての作成を期待いたします。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、こういった形で自園を多角から見ていただき、結果につきましては、自園の現状を的確に見ていただきまして、十分納得できるものとなりました。

進行は、大変多くの共感を頂きながら、終始和やかな時間を感じました。またその中で、利用者や地域に対して、自園の取り組み内容のアウトプットや、熱量ある施設運営の質問やアドバイスを、訪問いただいた皆様からご教授いただきました。その対話の時間が、社会福祉の大切さ、尊さを改めて感じる機会となり、施設の更なる向上を目指したいと感じました。当日も含め、長期にわたる取り組み内容を、前向きな進捗と、温かい表情が印象的で、その姿も学ばせていただきました。

ご尽力賜り大変感謝いたします。また、今後ともよろしく願いいたします。